

特殊詐欺版

令和8年5月号

金融機関様による水際阻止好事例

事案1

高齢女性が来店して「息子の車をどうにかせなあかんからお金を下ろしたい。」等申し出たため、振り込みを勧めたところ、「急いでいる。」等焦って怒り出した。

事案2

高齢夫婦が来店し「直接息子に手渡す。困った時は助けてやりたい。」等言い、夫婦それぞれが定期解約を申し出た。

息子に確認しようとするも「息子の携帯電話は故障してる。」等、息子の連絡先を語ろうとしなかった。

事案3

高齢男性が電話で現金の高額出金について問い合わせてきたが、理由が不明瞭であったため、店舗職員に周知した。後刻、ATMに訪れた客がその高齢男性だと気づいた。



説明して引き止め、警察へ通報！



警察官が聴取した結果…事案は全て息子かたりのオレオレ詐欺でした！自宅の固定電話に息子を名乗る者から電話があり「不倫をしてしまった。」「携帯電話番号が変わった。」「示談に300万円必要で困っている。」などと騙され、お金を振り込むように指示されていたことが判明しました。

声掛けのポイント



「息子のふりして電話をかけてきて、誰にも言わないで、とか言うんですよ。」等、手口を具体的に説明した。

「知っている息子さんの携帯電話番号に電話して、話をしてみませんか。」等納得できるような方法で確認した。



声を掛け合ってみんなで特殊詐欺被害を防止しましょう。



兵庫県明石警察署